

# 20歳のつどい

1月7日、令和6年  
20歳のつどいが行われました。  
今年、愛荘町では236人が  
20歳の節目を迎え、  
当日は167人が20歳のつどいに  
参加しました。



1月7日、ハーティーセンター秦荘で20歳のつどいを行いました。色とりどりの振袖や真新しいスーツ姿の皆さんは、友人と手を振って声をかけあったり、スマートフォンで記念撮影をしたりして久々の再会を喜び合っていました。

式典では、まず参加者全員で、元日に発生した能登半島地震で犠牲になった方々に黙祷を捧げました。

そして、式典第1部では、筒居 優芽さんの演奏のもと国家斉唱を行った後、来賓からの祝辞に続き、20歳のつどい実行委員の前川 匠悟さんと岸田 大和さんが20歳の抱負を述べました。

式典第2部では、小学校・中学校の恩師からのビデオレターが流れ、参加された皆さんは久々に見る恩師の姿に歓喜していました。

また、自分たちの学生時代の写真が流れると、懐かしさのあまり、わっと歓声があがりました。

皆さんは「SNSではつながっていても、会って話すのは久しぶりで、今日会えてとっても嬉しいです!」「今日家で送り出してくれた親の嬉しそうな顔を見て胸がいっぱいになりました。改めてこれまで育ててくれた親への感謝を感じました」とはじける笑顔で答えてくれました。

また、保護者の方は「振袖を着た娘の姿を見て、大人になったなあと感じています。体に気をつけてこれからもがんばって行ってほしいです」などの温かい声がありました。



## ◆ 20歳の抱負 前川 匠悟さん

早く大人になりたい、と思っていた10代もあっという間に過ぎ、いつの間にか自分も20歳になりました。『大人』だと思っていた20歳の自分はまだまだ家族や友達に支えられながら、日々生活しており、まだ一人前の『大人』にはなれていませんでした。

しかし、今この場に立ち、改めて大人になったのだと自覚し、身の引き締まる思いです。

さて、皆さんには夢はありますか。大きい夢や小さな夢、まだまだ実現できそうにない夢や、もうすぐ叶いそうな夢など少なからずあるのではないのでしょうか。

僕には大きな夢があります。それは美容師として人を幸せにすることです。僕は今、美容学校で美容師になるために勉強しています。

しかし、今はまだ、国家試験取得に向けての技術練習や試験勉強ばかりで、美容師として人を幸せにする技術や知識はまだまだ勉強中です。

では、今何ができるかと考えたとき、まずは今お世話になっている方々に日々の感謝を伝え、今置かれている環境に感謝し、自分らしさを大切にしながら精一杯頑張っていくことだと思いました。

これから、まだ夢に向かって学びながら、少しずつ今まで育ててもらった周りの人、地域の方に自分ができることを返していこうと思います。

## ◆ 20歳の抱負 岸田 大和さん

本日無事に20歳のつどいを迎えることができました。

20年といっても色々な事があり、嬉しい事や楽しい事もあれば辛い事もそれぞれたくさんありました。その時に家族や友達、その他にも周りで支えてくれた人たちがいてくれたおかげで、今日というめでたい日を迎えることができました。本当にありがとうございます。

僕はスポーツトレーナーとして大好きなスポーツに関わってきたいという夢があります。

専門学校に入学してからは、昔の自分では考えられなかったくらい勉強や実習経験を積んできました。先生がそれを見てくれていて、その結果、大学の部活動と契約をすることができました。この春からは夢であったスポーツトレーナーとして活動していきます。

皆さんに伝えたいのは、皆さんの努力は誰かが見ているということです。何かを続けるのは簡単じゃないしキツイと思うこともありますが、勝手に自分で限界を決める人にはならないでほしいです。

これから先の人生も日々努力し、チャレンジ精神を忘れず頑張っていってください。ありがとうございました。

